令和６年度　宗谷支部活動報告

研究主題

ひと、モノ、じぶんをつなぐ

～協働的な活動を通して、自ら学びを深める体育授業の実践～

１　研究概要

学びは「他者・教材・自己」とそれぞれ向き合い、関わり合いながら行われる。「対話」というと、他者との関わりばかりが 焦点化されるが、教材（運動課題、用具、自分の動き）との対話も体育授業の中には豊富に存在している。そういった中で、「できない自分」「この種目が好きな自分」「仲間のことが気になる自分」など、自己との対話も行われる。このように「他者・教材・自己」、つまり「ひと、モノ、じぶん」の相互のつながりを意識し、より多くつながることができる体育授業を目指す。重点として「協働的な学び」「探究できる課題設定」を２本柱として研究を推進していく。

２　公開授業研修

稚内市立潮見が丘中学校　水嶋　星陽　教諭　　３年生　「器械運動（マット運動）」

マット運動のなかでも、自己の能力に応じた技を用い、集団で演技を構成していくという「集団マット」の実践であった。生徒がこれまでに培った力を生かし、自分なりのマット運動との関わりをつくることを目指したものである。生徒は、単元全体の課題をもとに、自分達の「なりたい姿」をイメージし、ゴールに向かって課題解決を繰り返していくという過程で学習を進めた。仲間とともに「協働」するなかで課題解決を図り、「探究」していく過程で学びを深めていった。協議では、生徒の学びの多様性についての意見や、課題解決段階での教師の関わり方についての議論がなされた。

３　冬季授業づくりセミナー

1月10日に北海道教育大学附属旭川小学校教諭の加藤亨先生をお招きして、冬季授業づくりセミナーを実施した。今回のセミナーのテーマは、「ちがいがあっても楽しめる体育ゲーム」である。体つくり運動のなかで、様々な教材を用い、失敗しても思わず笑顔になるような運動をご紹介いただいた。当日は悪天候となってしまいフェリーが出ないことからオンライン参加の方も数名居たが、学びが多い充実した時間となった。

４　まとめ

令和６年度は、前期に「管内の先生方のネットワークづくり」「資料蓄積に向けたクラウド整備」、後期に「公開授業研修」「授業づくりセミナー」ということで取り組んだ。昨年度からさらに一歩前進させることができたように感じるが、広い宗谷管内において、この研究会に参加できることが日常の体育授業づくりにつながるというメリットを感じられるようにしていきたい。さらには、次年度も組織に変化はあるものの、これらの取り組みを継続し、体育研究の火を絶やさないようにしていきたい。